

(仮称)奈良北IC～(仮称)奈良IC H30年度新規事業化
(仮称)奈良北IC～郡山下ツ道JCT「合併施行方式」による平成30年度の新規事業化



整備効果 ① 渋滞の緩和／物流の効率化

宅配ドライバーの声

大和北道路が整備され、奈良市内の渋滞が緩和すれば、宅配業務におけるサービス・質の向上に繋がるとともに、**ドライバーの負担軽減**となり、働き方改革・担い手の確保に繋がる。
 (奈良市内 宅配業者)



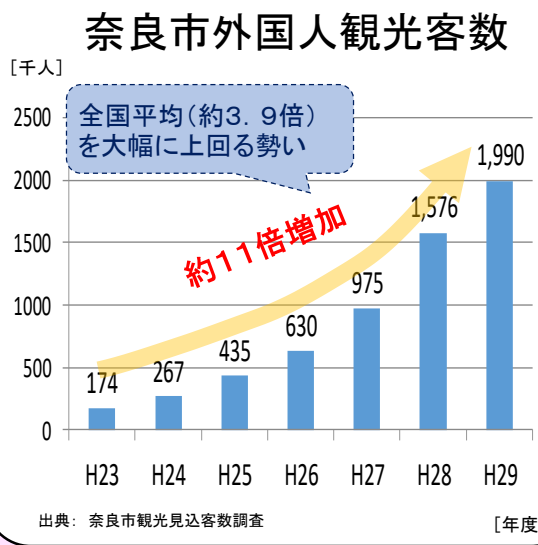
京奈和自動車道の早期全線開通!!

大和北道路 12.4Km
 合併施行方式導入区間

凡 例

- 供用済区間 (Solid line)
- 事業中区間 (Dotted line)
- 未事業中区間 (Dashed line)
- 京奈和自動車道 (Orange line)
- 世界遺産 (Purple circle)
- 京奈和自動車道沿線の工業団地 (Yellow circle)

整備効果 ② 世界遺産の観光周遊の向上



整備効果 ③ 災害・事故に強い道路ネットワークの確保

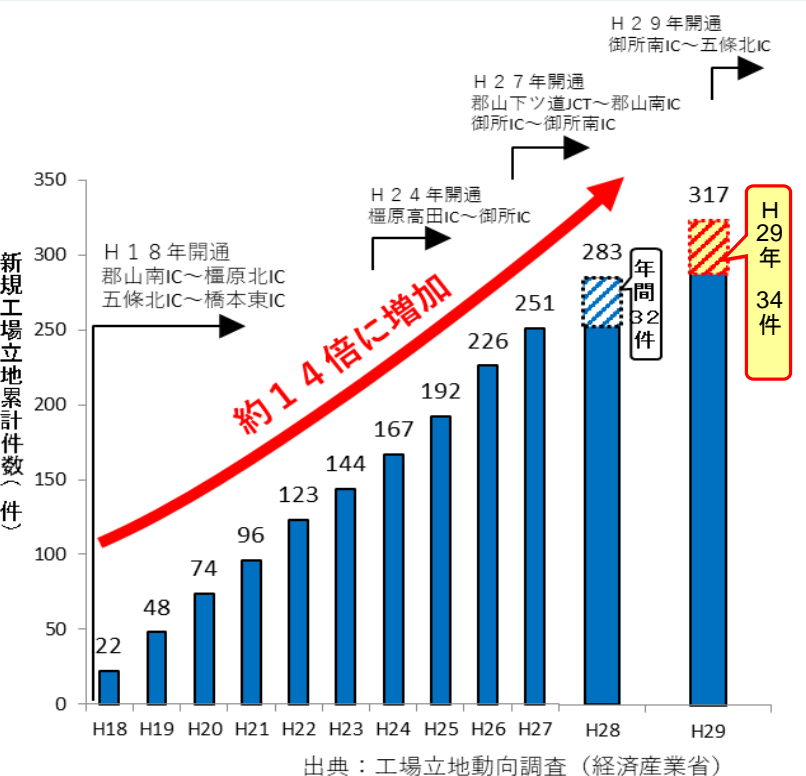
大和北道路開通による時間短縮効果 **京奈和自動車道**を利用すると

◇ 京都～高野山間: **16分**短縮 (約10%減) ◇ 東大寺～関空間: **14分**短縮 (約16%減)

[153分→137分] [87分→73分]

※H27道路交通センサス調査結果 (12時間上下線平均旅行速度を基に算定)

京奈和自動車道県内初の開通から10年
新規企業立地 累計317件
年間20件以上を維持



観光業者の声

奈良市内では渋滞が多く、**観光地間の移動に無駄な時間がかかる**ことから、観光周遊の範囲が奈良公園周辺と限定的となっている。

(奈良県内 観光協会・旅行者)
 (タクシー運転手)